

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市療育センター
条例上の設置目的	心身障害者の福祉の増進を図る。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	心身の発達の遅れや、その心配のある児童の障害を早期に発見し、心身の健やかな発達や集団生活への適応を支援すること。また、障害者の自立や社会参加を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労を希望する障害者に対し、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行うこと。 ・通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対し、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行うこと。 ・障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ること。 ・障害者の機能訓練、社会適応能力の向上並びに健康の維持及び増進に関する事業を行うこと。また、創作的活動やスポーツ・レクリエーション等により、障害者の社会参加を促進すること。くわえて、障害者福祉に関するボランティアを養成すること。 ・心身障害に関する相談並びに心身障害児又は心身に障害があると思われる児童に対する診断、検査、治療及び指導を行うこと。 ・心身に障害のある児童または心身の発達に遅れのある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うこと。 ・障害者または障害児の心身の状況やサービスの利用に関する意向等を勘案し、サービス等利用計画を作成すること。また、モニタリングを実施し、サービス等利用計画が適切であるかどうかを検証し、適宜サービス等利用計画の見直しを行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、市民サービスの向上と管理経費の縮減の効果を見込む。
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度
数値目標※	① 施設利用者数（ふれあいの家にあつては講座参加者数）の増加（前年度比） ② 利用者アンケートにおける満足度9割以上
所管課	保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	<p>次の理由により、公募の方法によらず千葉市社会福祉協議会を指定管理者とした。</p> <p>(1) 専門性の高いスタッフの確保 医師や専門職によるサービスの提供が求められるため、専門性が高く、スタッフの確保が困難である。</p> <p>(2) 利用者等との信頼関係 利用者及びその保護者と現在の指定管理者との信頼関係が構築されている。</p> <p>(3) より質の高いサービス提供 これまでの経験を踏まえた、より質の高いサービス提供が期待できる。</p>
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R5年度実績	達成率※
施設利用者数	施設利用者数（ふれあいの家にあつては講座参加者数）の増加（前年度比）	28,123人 (R4年度：28,302人)	99.4%
利用者アンケートにおける利用者満足度	満足度90%	84.1% (R4年度：84.0%)	93.4%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		R5年度	R4年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
指定管理料	実績	656,593	650,574	実績－計画	△ 42,298	休職、育休等による不用額の返納 人事異動による減
	計画	698,891	684,602	計画－提案	△ 46,993	
	提案	745,884	742,430			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	3,282	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	656,593	653,856	実績－計画	△ 42,298	
	計画	698,891	684,602	計画－提案	△ 46,993	
	提案	745,884	742,430			

イ 支出

(単位：千円)

費目		R5年度	R4年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
人件費	実績	489,590	482,530	実績-計画	△ 41,841	人事異動、育児休業等による減
	計画	531,431	515,261	計画-提案	△ 37,873	人事異動による減
	提案	569,304	566,461			
事務費	実績	32,819	29,159	実績-計画	△ 1,062	改修工事を見据え、修繕を精査
	計画	33,881	33,692	計画-提案	△ 7,362	執行精査による減
	提案	41,243	43,860			
事業費	実績	57,232	55,959	実績-計画	△ 9,099	国による激変緩和措置による光熱費減少のため
	計画	66,331	49,192	計画-提案	6,471	燃料価格の上昇による光熱費増額
	提案	59,860	53,347			
委託費	実績	70,004	70,608	実績-計画	4,239	たいよう号等の運転管理契約等の委託料上昇のため
	計画	65,765	70,093	計画-提案	△ 7,994	執行精査による減
	提案	73,759	70,655			
その他	実績	1,646	8,834	実績-計画	483	医療機器の購入
	計画	1,163	16,364	計画-提案	△ 555	執行精査による減
	提案	1,718	8,107			
本社費・共通費	実績	128	10,536	実績-計画	△ 192	区分間資金移動等
	計画	320	0	計画-提案	320	区分間資金移動等
	提案	0	0			
合計	実績	651,419	657,626	実績-計画	△ 47,472	
	計画	698,891	684,602	計画-提案	△ 46,993	
	提案	745,884	742,430			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉市社会福祉協議会の各事業（指定管理事業、委託事業）予算額に応じて按分。

(2) 収支状況

(単位：千円)

		R5年度	R4年度
必須業務	収入合計	656,593	653,856
	支出合計	651,419	657,626
	収支	5,174	△ 3,770
自主事業	収入合計	0	0
	支出合計	0	0
	収支	0	0
総収入		656,593	653,856
総支出		651,419	657,626
収支		5,174	△ 3,770
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	C	99.4%（R4年度88.4%）
利用者アンケートにおける満足度9割以上	C	93.4%（R4年度93.3%）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の108%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上108%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	12.6%の削減（人事異動によるもの）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 （D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
 -：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 千葉市療育センター設置管理条例及び管理規則に基づき、適切に施設管理を行った。 事故対応マニュアル、感染症防止マニュアル、等に従い適切に指定管理を行った。また施設の事業継続計画を策定した。 全体で年3回、各施設で全体分含め年12回の避難訓練を実施した。
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 職場内研修及び外部研修等の受講を推進した。 非常勤医師の雇用や派遣職員等により人員体制を整えた。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検・定期点検を適正に実施した。
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 設置管理条例及び管理規則に基づき、開館時間及び休館日を遵守した。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 各事業毎にアンケートを実施した。 ロビーに意見箱を設置している。
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 継続して園児兄弟・姉妹預かり事業及び土日余暇支援事業を実施した。
施設の事業の効果的な実施			
自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に市内業者を利用した。 障害者雇用の確保に努めた。
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

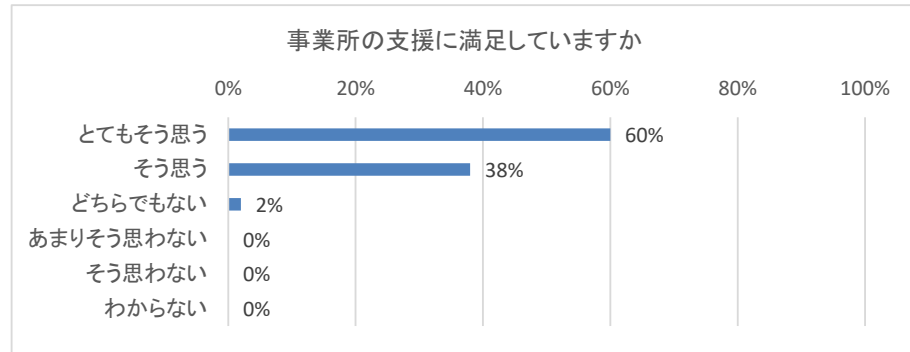
実施内容	調査方法	各施設にてアンケート用紙を利用者及び保護者に配布し、利用時に回収。																																										
	回答者数	延べ1,685人																																										
	質問項目	支援の説明について。事業所の支援について。個別指導について。グループ指導について。講座等実施事業について。等																																										
<p>令和5年度実施アンケートより一部抜粋（詳細については、事業報告書P101～P262参照）</p> <p>利用者アンケートにおける満足度（成果指標） 事業報告書P101～P262</p> <div data-bbox="437 571 1350 913" data-label="Figure"> <p>利用者アンケートにおける満足度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても思う</td> <td>47.1%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>37.0%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>4.9%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>各サービスにおける、全設問回答数である合計10,132の内、 「とても思う」（47.1%）「そう思う」（37.0%）の割合の合計を成果指標（84.1%）とした。</p> <p>ア すぎのこルーム（医療型C・前期） 配布数22、回答数20 回答率91% 事業報告書P106</p> <div data-bbox="437 1057 1350 1400" data-label="Figure"> <p>事業所の支援に満足していますか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても思う</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>すぎのこルーム（医療型C・後期） 配布数25、回答数22 回答率88% 事業報告書P124</p> <div data-bbox="437 1464 1350 1807" data-label="Figure"> <p>事業所の支援に満足していますか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても思う</td> <td>68%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </div>			満足度	割合	とても思う	47.1%	そう思う	37.0%	どちらでもない	9.8%	あまりそう思わない	0.9%	そう思わない	0.3%	わからない	4.9%	満足度	割合	とても思う	55%	そう思う	35%	どちらでもない	0%	あまりそう思わない	5%	そう思わない	0%	わからない	5%	満足度	割合	とても思う	68%	そう思う	27%	どちらでもない	5%	あまりそう思わない	0%	そう思わない	0%	わからない	0%
満足度	割合																																											
とても思う	47.1%																																											
そう思う	37.0%																																											
どちらでもない	9.8%																																											
あまりそう思わない	0.9%																																											
そう思わない	0.3%																																											
わからない	4.9%																																											
満足度	割合																																											
とても思う	55%																																											
そう思う	35%																																											
どちらでもない	0%																																											
あまりそう思わない	5%																																											
そう思わない	0%																																											
わからない	5%																																											
満足度	割合																																											
とても思う	68%																																											
そう思う	27%																																											
どちらでもない	5%																																											
あまりそう思わない	0%																																											
そう思わない	0%																																											
わからない	0%																																											

すぎのこルーム（児発・前期）

配布数43、回答数40

回答率93%

事業報告書P114

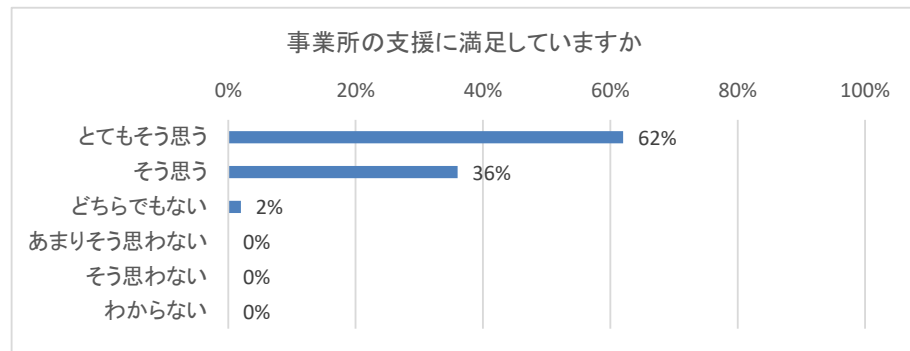


すぎのこルーム（児発・後期）

配布数49、回答数45

回答率92%

事業報告書P133

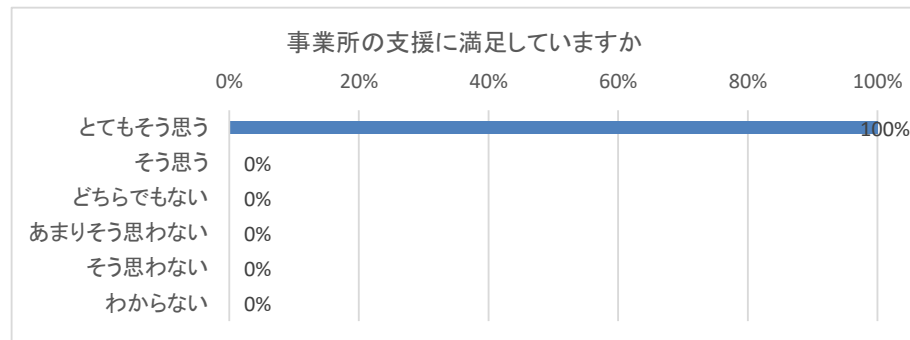


すぎのこルーム（児発一発達・前期）

配布数1、回答数1

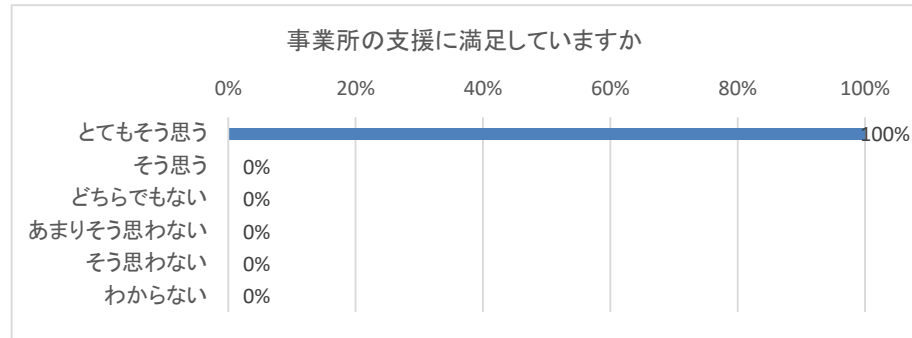
回答率100%

事業報告書P120

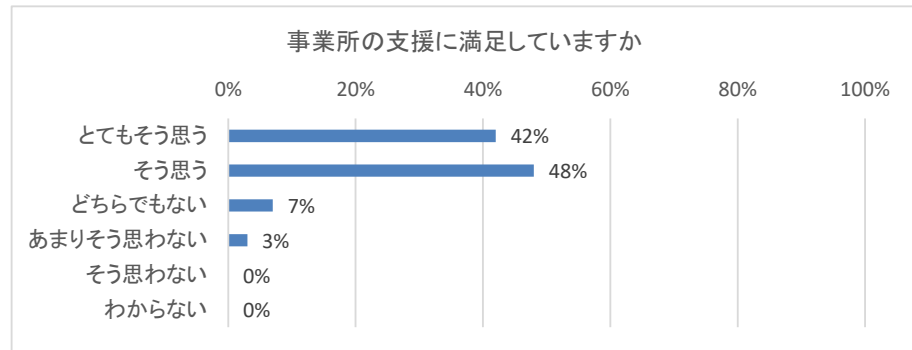


結果

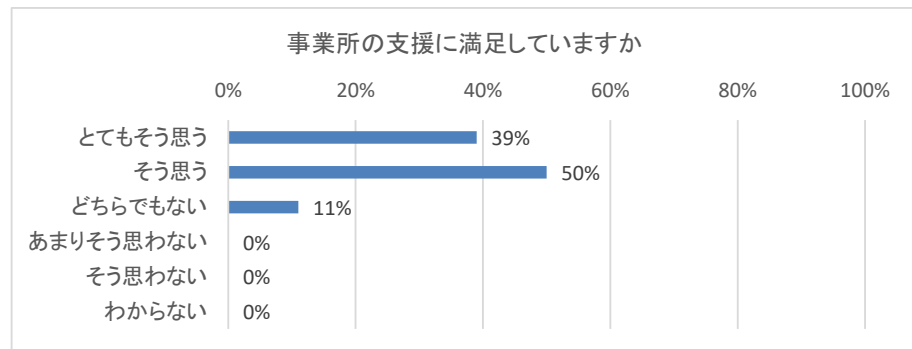
すぎのこルーム（児発一発達・後期） 配布数1、回答数1 回答率100% 事業報告書P137



イ やまびこルーム（前期） 配布数54、回答数31 回答率57% 事業報告書P146



やまびこルーム（後期） 配布数53、回答数36 回答率68% 事業報告書P157

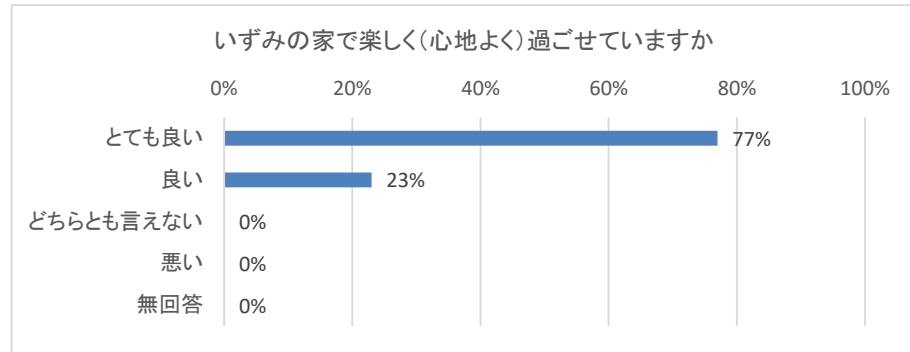


ウ いずみの家 利用者

配布数26、回答数26

回答率100%

事業報告書P172

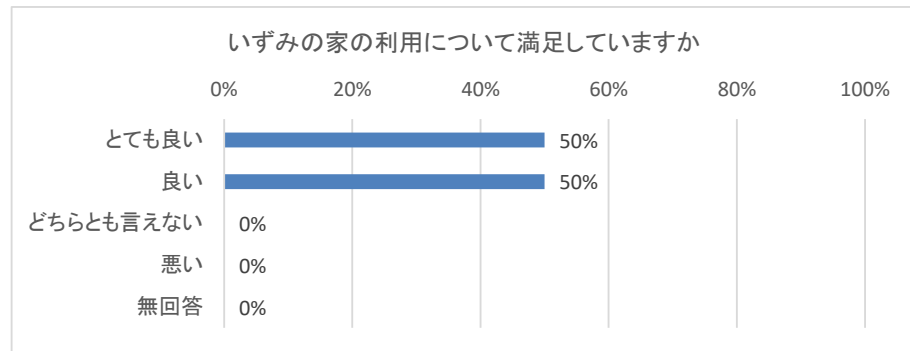


いずみの家 家族

配布数26、回答数26

回答率100%

事業報告書P176

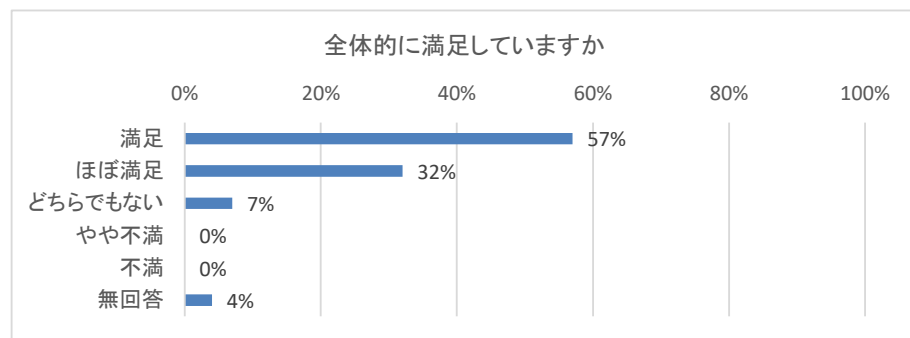


エ ふれあいの家

配布数590、回答数524

回答率89%

事業報告書P257



(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
<p>①医療型児童発達支援センター保護者より、「家族参観日に父親同士の交流時間が欲しかった」 ②児童発達支援事業の保護者より、「自由遊び時間は保護者同士ゆっくり話す時間が少ない」 (すぎのこルーム)</p>	<p>①家族参観日の午後、父親懇談会を設けました。参加された父親からは「貴重な意見、考え、思いが聞けて良かった。是非次回も設けて欲しい」と大変好評でした。 ②食後の時間を以前より長く設け、保護者同士が話せるように対応しました。</p>
<p>①個別指導やグループ指導に参加しやすいようにして欲しい。 ②難聴児に関する情報をもっと知りたい。 (やまびこルーム)</p>	<p>①個別・グループ指導に出席しやすいよう指導枠を固定せず、スケジュールを組むようにしました。また、グループもメンバーを固定せず、日程で選んでもらうようにしました。 ②保護者セミナーの内容の幅を拡げ、保護者の難聴理解の促進に努めています。また、保護者セミナー開催時に、別室での託児(兄弟も含む)を実施し、参加しやすくなるよう努めました。</p>
<p>ご本人、ご家族ともに行事の実施を希望される方が多い (いずみの家)</p>	<p>福祉バスを利用した社会研修を実施しました。また、他施設との交流機会を図るため「ゆうあいピック」に参加しました。一泊旅行は観光バスを借り上げ9月に実施し、10・11月にはグループでの所外活動、1月には新年会で外出しました。2月開催の「市ゆうあいピックマラソン駅伝大会」に参加しました。</p>
<p>①「障害のある人とない人の交流の行事があるとよい」 ②「もっと色々な教室があるとよい」という要望 ③「教室の椅子が疲れるし痛くなる」という意見 (ふれあいの家)</p>	<p>①7月にユニバーサルスポーツの1つであるモルック体験を通じて地域交流会を開催しました。 ②ビームライフルを1シリーズ(3回)、ヨガビリーを3シリーズ(各2回)、おしゃべりサロン(言語聴覚士による失語症の方対象の短期教室)(2回)を開催しました。 ③市のトライアル事業を利用し、座りやすい椅子を9脚購入し、必要な方に利用してもらえるようにしました。</p>

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

<p>総括評価</p>	<p>C</p>	<p>【療育相談所】 令和5年度は新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い徐々に制限を緩和し、7月以降は窓のない部屋の使用制限も撤廃し、従前どおりの対応に戻りました。新規患者数（新規相談及びインテーク）はそれぞれ895件（令和4年度1,005件）、668件（令和4年度554件）でした。令和5年度意見書発行業務は、相談員が行なった来所相談4件のうち3件実施しました。令和6年度についても更に初診の増加が見込まれますが、再診察枠を確保しながら初回診察枠を増やす、初回診察枠をこまめに調整してできる限り診察枠の空きを出さないようにする、初回相談体制の見直しを行うこと等により、引き続き可能な限り待機期間を短縮できるよう努めます。</p> <p>【すぎのこルーム】 医療型児童発達支援センターと児童発達支援事業の療育及び保護者支援に努めました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、人数制限を撤廃し利用児や保護者の安全に配慮しながら日々の療育や行事等を実施しました。 医療型児童発達支援センターでは、専門機関ならではのニーズに沿った支援（保育内容、専門職の支援、個別保育、行事等）に努め、保護者アンケートの満足度は93.9%となりました。契約人数は27人（R4年度28人）1日平均5.3人（R4年度5.1人）と微増しました。 児童発達支援事業は、グループ療育の他、保護者ニーズに沿った勉強会（5回実施）や個別相談に努め、保護者アンケートの満足度は93.2%となりました。契約人数は52人（R4年度63人）、見学者は28人（R4年度41人）でした。令和6年度も、親子通園のメリットである保護者支援の充実と専門性を最大限に活かした療育に努めていきたいと思えます。</p> <p>【やまびこルーム】 経験年数の浅い職員が多い状況でしたが、外部研修参加、職場でのOJTなどで職員が研鑽にはげみ、保護者ニーズに応えるべく療育の質の向上を目指しました。その結果、保護者アンケートでは満足度が概ね90%まで上昇しました。保護者支援については、難聴児療育の専門家、先輩保護者、難聴当事者、情報保障に携わる教員、学生など多彩な講師を招き、24回の保護者セミナーを開催し、延べ180人の保護者が参加しました。利用児が併行通園している幼稚園、保育園などの関係機関とは電話・メール・訪問等により延べ136件の連携を行いました。公開療育をオンライン配信し、18施設からの参加がありました。また、職員が講師として、ST養成校や地域教育委員会や豊学校幼稚部主催の研修に参加するなど、地域支援への取り組みも行いました。</p> <p>【相談支援事業所ばれっと】 相談支援を必要とする新規利用者を受け入れました。利用者一人ひとりに適切な支援ができるように、専門性の向上に向けた研修の受講や、ばれっと内で困難事例を共有し、担当が不在の際にも連絡を取り合う等、臨機応変にきめ細かい対応を行いました。また、サービス提供時モニタリングの実施や担当者会議による事業所間連携の強化や、各区基幹相談支援センターとの困難ケースの協働により、他機関からもより一層ばれっとの役割が認識されることになり全体の支援力の向上につながることができました。</p> <p>【いずみの家】 受注作業として菓子箱組み立て、手提げ袋作り、保冷剤の箱詰め、ハンガーの組み立てを柱に行なってきました。令和5年度は市場経済活動が緩やかに回復基調となり、受注量も回復の兆しが見えてきました。作業収入は約1,762万円（令和4年度比約110万円減）、材料費や諸費用の必要経費支出については約945万円（令和4年度比約55万円減）、就労継続支援B型事業のご利用者1人あたりの月平均額工賃額は26,879円でした（令和6年度障害福祉サービス報酬改定に伴い平均工賃額の算出方法が変わりました。旧来の算出方法と比較すると、令和4年度23,943円に対し令和5年度は23,976円でほぼ横ばいでした）。就労継続支援B型施設の令和4年度の全国の平均工賃額は約17,031円、千葉県平均工賃額は約15,371円となっており、いずれも大きく上回りました。</p>
-------------	----------	--

【ふれあいの家】

令和5年度は、幅広い利用者に合わせて事業運営と地域交流の充実を課題として行ってきました。障害者福祉教室は通年教室として11教室、短期教室としてビームライフ、ヨガピラー、字幕付与、言語聴覚士による「おしゃべりサロン」を計4種12回実施しました。社会適応訓練事業では、バス旅行を後期から昼食も含めた1日の日程で実施し、視覚障害者対象(令和4年度16人から令和5年度22人に増加)、肢体・聴覚・内部障害者対象(令和4年度16人から令和5年度29人に増加)共に令和4年度よりも参加人数が増加しました。ボランティア養成講習会は、開催した全講習会で出席率が80%以上(81~95%)となり、受講生の意欲の高さが伺えました。レクリエーション事業では、モルックによる地域交流会、一般市民の方も参加できるふれあいフェスティバル、ふれあいの家利用サークルの活動発表の機会となるサークル発表会を開催しました。9サークルが発表し、観客含め計185人の方が参加しました。アンケート結果から89%の方が満足と回答し、好評を得ました。貸出事業では、コロナ禍が落ち着き、障害者の方の活動がコロナ禍前に戻りつつあるようで、施設貸出利用人数、年間の総利用者数はそれぞれ令和4年度20,174人から22,370人(10.9%増加)、26,053人から29,385人(12.8%増加)とやや増加しました。

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・療育相談所では、引き続き障害児通所支援の支給決定に必要とする診断書（意見書）の発行業務を行い、心理判定員による診断書発行を3件行った。 ・すぎのこルームでは、医療型児童発達支援センターでの契約数が昨年度から微増（R4:1,231名→R5:1,285名）した他、昨年度に引き続き年6回の保護者勉強会を開催し、保護者支援の充実を図った。 ・やまびこルームでは、利用児が併行通園している幼稚園等に訪問等の連携を136回（R4:104回）実施し、利用児が地域で生活していくための助言を行い、難聴児が暮らしやすい環境の整備を行った。 ・相談支援事業所ばれっとでは、強度行動障害支援者研修等の受講により職員の専門性向上を図った。また、未就学児を対象として、電話受付による新規利用者の積極的な受け入れ等により、相談支援強化につながった。 ・いずみの家では、就労継続支援B型事業において、一人当たりの月平均工賃額は全国、千葉県の平均工賃額を大きく上回った。（R4年度全国：17,031円、R5年度いずみの家23,976円（旧来算出方法）） ・ふれあいの家では、通年教室で各教室の出席率が概ね7割を超え、利用者に積極的に参加してもらえた。ボランティア養成講習会も各回、出席率が80%以上となり、受講生の意欲の高さが伺えた。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、本部会に提出された財務分析シートを確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
- ・管理運営については概ね適切に管理が行われていると認められ、大変丁寧にご対応いただいているが、引き続き利用者からの不満の意見に対し適切にご対応いただきたい。